

平成23年度 校区外部評価

学校評価表

学校名 品川区立第四日野小学校

【学校評価表の作成および評価にあたっての留意事項】

- 各学校では、それぞれの項目ごとに「本校の基本的な考え方」を記入してください。
また、教育委員会事務局が示した「評価指標(黄色い部分)」のほかに、各学校で、必要に応じて評価指標を設定してください。その際は、各学校の重点的な取組と関連させて評価指標を設定をしてください。
なお、必要に応じて行を増やしていただいてもかまいません。
- この学校評価表の内容については、5月に各学校で行われる「学校評価説明会」において、校区外部評価委員の方々にご説明ください。また、その際には、学校経営方針(中期目標や今年度の重点など)について詳しく説明するとともに、評価を行うに当たって必要となる資料(昨年度の成果や今年度の取組など)を評価委員の方々に提示してください。なお、評価の参考となる資料については、年度当初だけでなく、年間を通して、随時評価委員の方々に提供するようにしてください。
- 校区外部評価委員による外部評価委員会が開催される前に、学校は、自己評価結果(取り組みの状況や変化等、書式は任意)について、必ず説明をしてください。
(校区外部評価委員は、その説明と実際に自分が見た学校の状況等により、評価します。)

【校区外部評価委員の皆様へ】

- ☆評価をする際には、実際に授業等を見た内容だけでなく、学校が説明した内容、聞き取った内容も十分に参考にしてください。従いまして、評価のために必要と思われる 情報や資料につきましては、遠慮なく学校にご請求くださいますようお願いいたします。

評価項目1 基礎学力の定着

<p>本校の基本的な考え方 (特に身に付けさせたい力、重点的な実践内容など)</p>	<p>◇ 本項目では、生きる力の基盤となる知・体を、より高い次元で徳と関連付けてバランスよく定着させる。</p> <p>①児童にとって分かる授業、充実感の得られる授業を展開するため、指導者として常に授業の量的確保・質的改善を図る。</p> <p>②授業成立の基盤である「聞く・話す」のけじめを徹底し、授業時間の効果的な活用を図る。</p> <p>③学習の基礎的内容である「読み」「書き」「計算」を、各学年において確実に定着させる。</p>
--	---

評価指標	校区外部評価委員による評価		学校から	
	評価	評定についてのコメント	校区外部評価についての教職員の意見	校長の態度表明
①児童・生徒は、学習の構え(学習するぞという雰囲気、学習の準備)ができていたか。	A	○集中して授業に取り組んでいる。	・始めと終わりの挨拶はできている。英語授業時の挨拶も共通のものを作りた。また、チャムの時刻を再考したい。・学習の準備ができている子もいるが、時間がかかっている子もいた。・授業の始まり終わりにきちんと挨拶し取組んでいる。・様々な行事の中、児童は成長してきた。・2学期は学芸会を始め、たくさんの行事があったが、児童は集中して学習に取り組んだ。・号令のかけ方や机間指導で集中するようかなりがんばっている。	◎学習規律を確実に定着させます。 → 授業中の学習が効果的に成立するには、指導する教員と指導される児童とがともに、授業の質を高めようとする働きが必要です。そのためには、まず、学習する「構え」や「ルール」を学年初の期間に、繰り返し繰り返し児童に徹底して身に付けさせるようにします。また、教員が「指導する意識」を高く持ち発揮するよう、管理職や主幹教諭が率先して指導します。
②児童・生徒は、授業中、教員や友達ときちんとした言葉でやり取りをしているか。(単語や挙手だけの応答となっていないか。)	B	指導の成果が少しずつ現れている。	・「最後まではっきり話す」ことを繰り返し指導している。もう少し手立ての工夫をしたい。・きちんとした言葉のやり取りを目指しているが、毎日のように注意している。・学級によって差がある。言葉遣いに関しては、再度、共通理解が必要である。(2) ・呼名の仕方は徹底できた。教師への「お願いします」「ありがとうございました」はできていないところがある。・心がけているが、児童に言い直させることもある。	◎できる子にはもっとできるように、つまづきのある子には手厚く指導します。 → 小規模であることのメリットや、地域からの積極的な応援を生かして、多くの大人が児童の学力向上に関わるようにします。また、算数を各教科への学力向上の核として、「少人数指導」「個別指導」を展開します。また、漢字検定や数学検定を各2回開催し、チャレンジできる環境を提供します。
③教師の指導に、メリハリが感じられたか。	A	○きちんと指導している。	・けじめをつけて指導している。・全体的にできている。自分もメリハリのある授業を目指している。・色々な教材や資料、外部講師などを使い、効果的に指導している。・教師側も気持ちの切替を大切にしたい。・担任としてだいぶ前向きに取り組めるようになった。その分メリハリは付けられるようになった。	
④教師は、価値のある体験活動を実施しているか。(見ている、その体験活動の意味やねらいが分かるか。)	B	いろいろと工夫されている姿がみられる。	・体験活動をできるだけ多く取り入れるようにしているが、時間の関係で取り入れられないこともある。・色々な教材や資料、外部講師などを使い、効果的に指導している。・写真で記録を撮って掲示するなど工夫している。・ほぼできている。	
⑤「聞く・話す」などの学習規律が徹底されているか。	A	○子どもたちの字がきれいになってきている。	・徹底されているとまでは言えないが、毎日、よく聞き、しっかり話すように指導を行っている。・もう少し読書量が増える取組が必要。「表現する」(書く)力を付ける必要性を感じる。一言日記など全校的な取組が必要。・全校朝会での話を聞く姿勢がよくなった。・ほぼできている。・文字を丁寧に書く児童が増えた。学習規律は常に指導を続けている。	

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価項目2 社会性・人間性の育成

本校の基本的な考え方 <small>(特に身に付けさせたい力、重点的な実践内容など)</small>	◇ 本項目では、生きる力の基盤となる徳を、より高い次元で知・体に関連付けて定着させる。 ①統一した生活指導を推進し、社会での基本的マナーやルールを守る態度を育てる。 ②市民科授業の量的確保・質的改善を図る。 ③「学校に来ることが楽しい、充実している」と感じられる学級経営を展開する。		
	評価指標	校区外部評価委員による評価	学校から
	評価	評定についてのコメント	校区外部評価についての教職員の意見 校長の態度表明
①学校は、市民科の授業を計画的に実施しているか。	A	教育計画に基づいて計画的に実施されている。	・指導している。・専科の取組を明確にしたい。(2) ・計画的に実施している。・縦割班活動が充実してきた。・年間計画に沿って実施している。
②教師は、あいさつや礼儀、場に応じた行動など、しつけるべきことをしっかりと指導しているか。	A	○しっかりと指導している。○子どもたちもあいさつがきちんとできるようになってきている。	・しっかりと指導している場面が多いが、タイミングよく指導を行えばよいと思われる場面もあった。・呼名の仕方など、教職員で揃えるべき点を再確認したい。(2) ・全校朝会では児童が「先生方と挨拶」と言っているのが、教師も前に一列に並ぶ方がよい。・朝の挨拶はよかった。背筋を伸ばしてお辞儀させたい。・しっかりと指導している。挨拶はもう少しできるようになってほしい。・授業中の会話が難しい。挨拶を返す子や自分からする子が増えた。・校内体制で実施している。・効果は上がっている。・指導しているが、高学年になると恥ずかしがってなかなか声が出ない児童も見られる。
③児童・生徒は、市民科で学んだことをもとに適切な行動をとうとうしているか。(市民科で学んだことが日常生活の中で定着しているか。)	A	○子どもの言葉遣いがよくなった。	・生かされている。・目上の人に対する言葉遣い、職員室の入り方はよくなった。・教科指導の中で、市民科が最も外部との関わりが多いため、児童も適切な行動を学び取りやすい一因になっている。・相手の話をきちんと受止めたり、自分の気持ちをしっかりと説明できるようになってきた。
④教師が範を示している様子が感じられたか。	B	概ね当てはまる。	・言葉遣いが気になる点があった。
⑤お互いを認め尊重し合う「受容的な雰囲気」が学級に培われているか。	B	学級による違いはあるが、概ね当てはまる。	・培われていると感じられる学級と、もっと力を入れた方がよいと感じられる学級もあった。・困っている子に進んで声をかけたり、そばに寄り添ったりできる子が多い。

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価項目3 小中一貫教育の推進

本校の基本的な考え方 <small>(重点的な取組内容など)</small>	◇ 本項目では、品川区小中一貫教育要領による学校教育の一層の充実を図る。 ①荏原一中グループの研究・研修を充実し、学年末へ向けて具体的な成果をあげる。 ②保護者や地域が、小中一貫教育のよさをより深く理解するように努める。		
	評価指標	校区外部評価委員による評価	学校から
	評価	評定についてのコメント	校区外部評価についての教職員の意見 校長の態度表明
①教師は、小中一貫教育の意義を十分踏まえた指導をしていたか。	A	算数の授業を通して小中一貫教育の具体的な取り組みが見られる。	・している。・算数の授業研究を通じ、学年同士の意識が高まった。・努力している。
②小中一貫教育のよさが児童・生徒に伝わっているか。	B	いろいろな機会や方法を工夫して伝えていってほしい。	・施設分離型の本校では、進学を目前にした6年生以外は小中一貫教育についてあまり実感できていないように思う。
③学校は、保護者・地域に、小中一貫教育のよさを理解してもらう努力をしているか。	A	様々な機会を使って取り組んでいる。	・保護者会等を通じ、管理職から話があった。・している。・努力している。
④職員自身が中学校との連携を前向きに意識し、具体的な事業に意欲的に取り組んでいるか。	A	○教科部会などによる授業研究に取り組んでおり、その成果が期待される。	・している。・来年度も引き続き、教科部会で設定したい。(2) ・今年度の連携は、自分が関わる以外がよく分からなかった。・算数の授業研究では、荏原一中の教員に具体的なアドバイスをもらい、それを生かして授業をしている。

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価項目4 保護者・地域との連携

本校の基本的な考え方 <small>(重点的な取組内容など)</small>	◇ 本項目では、第四日野小学校の地域の特性に根ざした保護者・地域との連携を充実する。 ① 様々な行事を通して、保護者や地域と、本校教職員との関わりを深め、相互理解を促進する。 ② PTAや地域の行事に、より多くの職員が参加し、保護者や地域との関係を円滑にする。
---	--

評価指標	校区外部評価委員による評価		学校から	
	評価	評定についてのコメント	校区外部評価についての教職員の意見	校長の態度表明
① 学校は、保護者・地域に対して積極的にかかわったり情報発信したりしているか。	A	○学校のHP、学校だよりなど、多様な媒体による情報が発信されている。その内容も充実している。	・とてもしている。・ホームページの発信はかなりしている。表彰対象児童の校外掲示も効果的であった。・今年度、HPが細かく更新され、とてもよくなった。携帯電話のメールについても仕事に届いても困ってしまうという保護者の声を聞いた。・よくできている。	◎PとTがともに協力し合う学校づくりを進めます。 →一般教職員もPTAの会員であり一員です。保護者が無償で活動しているPTAへ、教職員も進んで参加するよう促していきます。
② 学校は、保護者・地域の力を十分に生かして教育を進めているか。	A	○授業や行事等で積極的に取り組んでいる姿がみられる。	・昨年度以上に、地域の方々が積極的に学校に関わっていると感じる。・とてもしている。・地域と一体となれている。・努力している。	◎保護者・地域と「近い」学校づくりを進めます。 →地域の行事や祭りなど、地域の人々が大切にしている地域行事へ、教職員が積極的にに関わり、参加するようにします。
③ 職員は、本校の教育課題を解決するための第1段階である相互理解を深めるため、様々な行事に参加し、連携に努めているか。	A	○地域の様々な行事等に参加している。	・積極的に様々な行事に参加している。・とてもしている。・様々な行事に参加している。・努力している。・できる限り参加をしている。	

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかというと当てはまらない D=当てはまらない

評価項目5 環境整備・美化

本校の基本的な考え方 <small>(重点的な取組内容など)</small>	◇ 本項目では、施設の安全確保と学習環境の改善、児童の環境教育を推進する。 ① 児童が安全に過ごせるよう、全職員が「安全確保」の高い意識を持って点検・改善を行う。 ② 各室が機能的に使用されるよう積極的に整備を図る。 ③ リサイクル活動など、資源を有効に活用する教育を充実する。
---	--

評価指標	校区外部評価委員による評価		学校から	
	評価	評定についてのコメント	校区外部評価についての教職員の意見	校長の態度表明
① 学校は、常に、児童・生徒の安全に配慮していたか。	A	○転倒防止の対策がとられるなど、十分な配慮が見られる。	・学期ごとの安全点検、複数の目で点検し、すぐに修理されうよかった。・震災後、転倒防止・毎月の安全点検等、きちんと対応できた。・安全点検をしっかりと行い、何かあったときはすぐに対応していた。・およそできているが、場合によって徹底できていないこともあるので、これからも声をかけていく。・配慮している。	◎子供達が学校で安全に過ごせるようにします。 →施設・設備の安全点検を確実に行うことや、避難訓練などのソフト面も指導をさらに充実させます。 →また、避難所訓練など、地域との連携をさらに進めます。
② 学校は、ふさわしい環境(掲示、清掃等)を整える努力をしているか。	A	○掲示物も適切で清掃も行き届いている。	・児童もきちんと清掃に取り組めるようになってきている。主事が校舎内をきれいにしている影響と思う。備蓄倉庫、生活科室など、教室整備も進んでいるが、教室・印刷室など、さらに整備を進めたい。・用務主事のワックス塗りが何度も行われ、とてもきれいな学校を保っていた。・屋上踊り場の掲示板を移動するなど、さらに効果的な掲示を考えたい。(2)・掲示物も清掃も行き届いている。・主事のおかげである。・本校の用務主事はとても熱心に仕事をしている。区内でも廊下や階段はとてもきれいな方である。・配慮している。	◎節電・節水に心がけます。 →東日本大震災の教訓を受け、日頃から無駄な電気や水道の節約に心がけます。 →そのため、節電や節水に関する子供達への指導を徹底します。
③ 学校は、資源(電気や紙など)の無駄遣いをなくす努力をしているか。	A	○様々なところで努力している。	・努力している。・主事のおかげである。・努力している。特に夏はがんばった。・資源の無駄遣いには十分気を付けている。教室の蛍光灯を再度取り付けてほしい。節電が行き渡り、紙の再利用もはっきり行われていた。・節電に努めている。紙の利用もなるべく再利用を心がけているが、裏面利用の印刷をしても使った方がよいか認識がなく、不十分かもしれない。・教室後方の電灯がなくテストや給食の時に暗いので再設置してほしい。	

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかというと当てはまらない D=当てはまらない

評価項目6 学校独自の特色ある教育活動

本校の基本的な考え方	◇ 本項目では、特色ある教育活動の充実を図り、本校の魅力を高める。		
	①小規模校のメリットを生かして、学習指導・生活指導を機動的に展開し、保護者の信頼を獲得する。 ②本校の歴史や伝統、地域の特色を生かした教育活動を展開し、“四日野は近い”をキーワードにした「家庭と近い」「地域と近い」「子供と近い」の3項目を実践し、地域の信頼を獲得する。		
評価指標	校区外部評価委員による評価		学校から
	評価	評定についてのコメント	校区外部評価についての教職員の意見
①個に応じた指導の充実で、児童の学習力・生活力を大きく伸ばしているか。	A	○個別の指導が多くの場面で取り入れられ効果も出てきている。	・個別指導、帯の時間、放課後指導などの効果的な対策を具体化した。・教育ボランティアの協力も含め、個別指導の機会を多く取り入れている。放課後の個別指導については、児童の最終下校が15:45であるため、高学年ではなかなか難しかった。・それぞれ個別に指導を行ったりしているが、成果が出るのには時間がかかると思う。・放課後が早い時には、教室でよく個人指導をしている。その時間を確保できるように、5時間授業の日も確保したい。・休み時間や放課後など、機会を見つけて個別指導している。・個別に話をする時間をもう少し取ればよかった。・学習支援員や講師によって、個別指導がきちんとできている。・学習支援ボランティアに入っていた分、算数は効果が上がった。
②職員自身が率先して保護者や地域と関わり、本校の学区域の特色を踏まえて前向きに連携しているか。	A	積極的にかかわろうとする姿が見て取れる。	・小P担当として協力できた。区民祭りに参加したり芋を地域の方と育てたり、カーテンマスターと協働作業をしたりした。・保護者の方々と積極的に関わり連携している。・とてもしている。・地域行事にはできる限り参加するようにしている。
			◎少人数指導の徹底を図ります。 →算数を中心とした「少人数指導」を引き続き充実させます。 →指導助手や専科教員はもとより、学習支援ボランティア制度を充実して、地域と一体となって子供達の学力定着・向上を図ります。 ◎ブロック学年制・教科の専門指導を推進します。 →低・中・高のブロック学年を組み、専科教員を副担任として配置し、チームで子供達の教育に当たる体制を確立します。 →理科担当制を中学年にも拡大し、専門的に教科を指導する体制を充実します。

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかというと当てはまらない D=当てはまらない

その他 お気付きの点を自由にお書きください。

☆基礎学力の向上に向けて、個別学習の充実に取り組んでいることは評価される点である。
 →今後も継続して取り組んで参ります。

☆また、教員の授業力向上に向けて、校内での研修活動の改善に取り組んでいる点も評価される。
 →どうもありがとうございます。こちらも児童の学力定着・向上の柱として、継続して取り組んで参ります。

☆学校のPRとしての取組みとして、子どもたちの活躍している姿を学校内外に情報発信していく。例えば、コンクール入賞、大会入賞、資格検定へのチャレンジを積極的に導入していく。
 →学校だよりやホームページ、また、地域の掲示板や連携する中学校や保育園、幼稚園など、関係施設に依頼して、今後も児童の活躍を広く広報して参ります。また、検定へのチャレンジも受検しやすく、本校を会場として機会を設定し、より多くの児童が受検できるようにします。

☆読書活動の充実に取り組んでいるが、その成果について、何か具体的なものが出ているか。「聞く・話す」ということにも関連するので。
 →平成23年度は「読書校長賞」を新たに設定し、70冊以上読破した児童を表彰して参りました。読書を奨励することによって、学校全体の生活態度に落ち着きが見られるようになって来ています。来年度は、全校的に読書に取組む時間を設定し、さらに学校全体が落ち着いた雰囲気の中で、学習に取り組めるようにして参ります。